

第 17 回化学熱力学国際会議：ICCT-2002 －松尾隆祐教授が全体講演－

標題の国際会議が 7 月 28 日～8 月 2 日の期間、バルト海に面したドイツ中世のハンザ同盟都市ロストックで開催された。組織委員長はロストック大学の Andreas Heintz 教授、副組織委員長は同大学の Eckhard Vogel 教授であった。ちなみにロストック大学は 1419 年の設立であり、8 学部 12000 人の学生を擁している。開会式で組織委員長が「東西ドイツ統一後初めてドイツで開かれることに特別の意味がある」と挨拶されたのが、1970 年代に西ドイツに留学した筆者には印象的であった。

1996 年にアジアでは最初に当たる第 14 回の会議が大阪で開催され、分子熱力学研究センターの前身に当たるマイクロ熱研究センターに事務局を置き、組織委員会には全国から 50 名以上が名を連ねるものであった。しかし第 15 回のポルト、第 16 回のハリファックス、第 17 回のロストックはいずれも一研究室あるいは一大学が総ての企画運営を行っている。日本での今後の組織運営の在り方を考え直す必要を感じた。

この会議は 2 年毎に IUPAC の I.2 熱力学委員会が主催してきた化学熱力学の国際会議であるが、2001 年 12 月末日をもって IUPAC の大構造改革が行われ、全ての委員会が消滅した。そのため今回の会議は実質上は I.2 委員会の事業であるが、2004 年の北京の IUPAC 国際会議は、新たに設立が決まった化学熱力学国際連盟 (IACT: International Association of Chemical Thermodynamics) が主催することになっている。

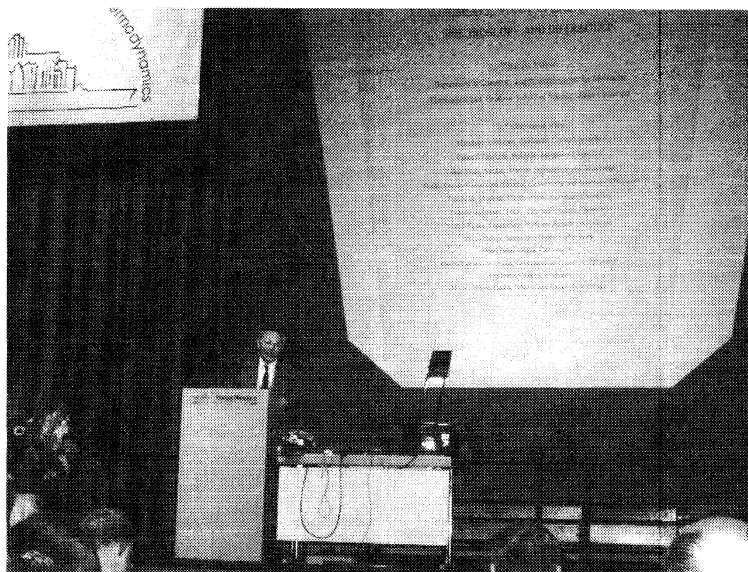
参加者総数は約 550 名で、日本からは 43 名が出席した。当センター関係では徂徠が国際顧問を務め、松尾隆祐教授が全体講演 "Quantum aspects of low temperature properties of solids: A calorimetric study in interaction with spectroscopy and diffraction" を行った。松尾教授が最も力を入れている重水素同位体効果の研究成果を、明解な英語で講演され好評を博した。徂徠と宮崎助手が口頭発表し、松尾教授と長野講師がポスター発表を行った。

徂徠道夫： "Optically isotropic states in thermotropic and lyotropic liquid crystals", M. Sorai and K. Saito

宮崎裕司： "Solvent concentration dependence of order-disorder transitions of Schizophyllan solutions", Y. Miyazaki, K. Kikuchi, M. Sorai, K. Yoshida, and A. Teramoto

松尾隆祐： "Extended least squares analysis of heat capacities incorporating the effect of phase transitions", T. Matsuo, N. Tanaka, M. Fukai, O. Yamamuro, and A. Inaba

長野八久： "Standard enthalpy of formation of platinic acid", Y. Nagano
(徂徠道夫)



Prof. T. Matsuo, presenting Plenary Lecture

17th IUPAC Conference on Chemical Thermodynamics: ICCT-2002

- Prof. T. Matsuo presents a Plenary Lecture -

This conference was held in Rostock along the shore of the Baltic sea July 28 - August 2, 2002. Conference Chair was Prof. Andreas Heintz and the Vice Chair was Prof. Eckhard Vogel at University of Rostock. The participants were about 550, of which Japanese participants were 43. Sorai served as one of the members of the International Advisory Board. Prof. Takasuke Matsuo presented a Plenary Lecture under the title "*Quantum aspects of low temperature properties of solids: A calorimetric study in interaction with spectroscopy and diffraction*". Sorai and Miyazaki gave oral presentations, and Matsuo and Nagano gave poster presentations under the titles given above.

(by M. Sorai)